



2023年 4月号 (No.324)

図書館だより

鹿嶋市立

中央図書館 ☎ 0299-83-2510

大野分館 ☎ 0299-69-1114

<http://opac.city.kashima.ibaraki.jp/>



「こどもの読書週間」が始まります

4月23日(子ども読書の日)から5月12日は「こどもの読書週間」です。「子どもたちにもっと本を、子どもたちにもっと本を読む場所を」との願いから、「こどもの読書週間」は1959年に誕生しました。この期間には昔から、図書館・書店・学校を中心に、子どもたちに本を手渡す様々な行事が行われてきました。

図書館ではこどもの読書週間にあわせ、イベントを企画しております。詳しくは当館ホームページおよび、館内掲示にてお知らせいたします。

お楽しみに(^ ^)/

2023年・第65回こどもの読書週間 標語

「ひらいてとじた 笑顔がふえた」

4月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 中央館 11:00～ かみしばい
2 中央館 11:00～ 鹿嶋の民話	3 休	4	5	6	7	8 中央館 14:00～ おはなし会 大野分館 11:00～ おはなし会 「てぶくろ」
9	10 休	11	12	13	14	15 中央館 11:00～ 子ども映画会 大野分館 14:00～ 大野シネマ館
16	17 休	18	19 中央館 14:30～ 読み聞かせの会	20	21	22 大野分館 11:00～ 読みきかせの会
23	24 休	25	26	27	28	29
30						

国立国会図書館 デジタル化資料送信サービスのご案内

国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは、「国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手が困難な約184万点※の資料を国立国会図書館の承認を受けた図書館で利用できるサービス」です。

【利用方法】

鹿嶋市立中央図書館で閲覧・複写することができます。(複写料金有料白黒のみ)

但し、**大野分館ではご利用できません。**

【利用できる方】

鹿嶋市立中央図書館の図書利用カードを持っている方に限ります。

【利用するには】

申請書に必要事項を記入して中央図書館カウンターでお申し込み下さい。

○詳しくは、中央図書館カウンターまたは、当館ホームページをご確認ください。

※令和5年2月時点

～図書の寄贈をご希望の方へ～

中央図書館・大野分館では図書の寄贈を受け付けています。

希望される方はカウンターでお申し込みください。また、インターネットでの事前申請も可能です。

なお、寄贈していただいた本の取扱い及び排架に関しましては、こちらにおまかせいただいております。ご了承ください。

《寄贈本一例》

・新刊書（小説・文庫本含む） ・郷土資料等

《お受けできないもの》

・百科事典・雑誌・視聴覚資料・汚れや破損のひどいもの
・出版後概ね5年以上経過している資料（郷土資料は除く）





大野シネマ館(映画会)

4月からの変更について

◆ 2023年4月から、午前の上映はなくなります。

午後2時から1回のみの上映となります。



◆ 整理券の配布は行いません。直接会場へお越しください。

◆ 日時： 毎月第3土曜日

午後2時～ (開場：午後1時30分)

◆ 定員：20名

(定員に達した場合、入場をお断りする場合があります。)

◆ 会場： 大野ふれあいセンター2階AV室



※都合により日時が変更になる場合があります。ご了承ください。



図書利用カードの作成について



館内の資料の閲覧は、どなたでも自由にできますが、貸出の際には、利用登録(図書利用カードの作成)が必要です。カードを作成すると、予約やリクエストなどのサービスや電子図書館もご利用いただけます。まだカードをお持ちでない方は、ぜひ利用登録をお願いします。

◆ 利用登録できる方

鹿嶋市に在住・在勤・在学及び鹿行地域に在住(住民登録)されている方です。0歳からご登録可能です。

◆ 登録方法

図書利用カード申込書に必要事項を記入して、運転免許証、保険証などの身分証明書と一緒に、カウンターまでお持ちください。また、インターネットからも図書利用カードの新規申し込みをすることができます。詳しくは図書館までお問い合わせください。

※サービスに一部制限があります。

■リクエスト (鹿嶋市在住の方のみ) ■電子図書館 (鹿嶋市在住・在勤・在学の方のみ)

私の おすすめの1冊

今月のおすすめは……



『ウスビ・サコの 「まだ、空気読めません」』

ウスビ・サコ/著
世界思想社(361/サ)



サコさんは、アフリカのマリ出身で、京都の大学の学長さんです。(出版当時)サコさんは、来日して以来、度々自問自答しています。「なんでやねん!？」と……。

サコさんは面倒見がよいので、よく自宅に、外国からきた留学生を呼んで、お世話をしています。そんなあるとき、近所の方に「にぎやかでよろしいね。」と言われました。気をよくしていたサコさんですが、その後、警察がやってきたそうです。苦情が出ていると……。サコさんは思ったことでしょう。「なんで一言言ってくれへんねん。ちょっと騒がしいですよ。」と。サコさんの母国では、人々は率直で、人間関係もオープンです。だから空気を読むという日本の文化には少し違和感を覚えてしまうようです。「本来、空気を読むとは、他者への配慮であったはずですが、それが排除になっていなければいいのですが……。」と、心配してくれています。確かに空気を読みすぎて、神経をすり減らし、ついには引き籠もってしまう人々が増えてきている日本の将来は心配です。

中国の成都に旅行をしたとき、ホテルのレストランや観光地のゴンドラの中で、大きな声で元気に話をする中国人の大きさに圧倒されました。また、先のサッカーW杯では、日本人の振る舞いが世界から賞賛されました。人の長短は様々で、お互い様でもあります。異文化に触れてみて初めて、日本人が、自分が、わかります。心を開いて人々に触れ、できればサコさんのようにユーモアをもって心豊かに生きていければ幸いです。

(2023.04 薄日差子)

こんにちは 大野分館です♪

***おはなし会「てぶくろ」**
4月8日(土)11:00~

大野分館 おはなしのへや

***大野シネマ館**
4月15日(土)14:00~

大野ふれあいセンター2階 AV室

***読みきかせの会**
4月22日(土)11:00~

大野分館 おはなしのへや

次回の図書館だよりの発行は令和5年5月2日(火)です。